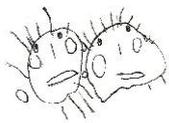


# いっぽ だより



2025年度 No. 11

2026年2月26日  
はじめのいっぽ

暦の上では春を迎え日中は暖かな日もありますが、朝晩はまだ寒さ厳しい毎日です。保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、今月はイタリアで冬季オリンピックが開催され、世界中が熱い感動に包まれました。画面越しに伝わってくる選手たちのひたむきな姿や、極限の状態で放たれる最高のパフォーマンスに、思わず手に汗を握り応援されたご家庭も多かったのではないのでしょうか。

いっぽに通う子どもたちも、スキージャンプの真似をして飛び跳ねたり、またある子はフィギュアスケートのように華麗なターンを見せてくれました。「一番になりたい!」「かっこいい!」と純粋なあこがれを持ってスポーツに親しむ姿は、まさに未来のメダリストたちです。

オリンピックが閉幕し、3月6日からは、パラリンピックが開幕します。パラリンピックは単なる協議の場であるだけでなく、工夫や道具を駆使して、「不可能」を「可能」に変えていく、多様な可能性に満ちた大会です。それは、私たちが日ごろから大切にしている「ひとり一人の個性に寄り添い、それぞれを応援する」という思いと深く重なります。

障害の有無に関わらず自分の力を信じて挑戦し続ける選手たちの姿は、子どもたちにとっても、~~私~~たち大人にとっても大きな励みになるはずで。今月から来月にかけては、この「情熱のバトン」を子どもたちと一緒に受け取り、自分なりのできた!という金メダルを一つずつ積み重ねていけるよう、一歩いっぽの歩みを大切にサポートしてまいります。

季節の変わり目、寒暖差も激しい時期となります。心も体も元気に過ごしていけるよう引き続き健康管理に留意してまいりますので、今後もどうぞよろしくお願いいたします。

記：山本 寿果



チャレンジする前の慎重さと、恐怖に打ち勝つメンタル、ほんの少しの後押しが結果につながっていきます。

## 3月スケジュール

日時	行事
3月 3日 (火)	ひなまつり
3月16日 (月)	定例会議
3月20日 (金)	春分の日
3月25日 (水)	送る会

## 小中学生編

### 日常の活動

2月3日節分の日、「鬼は一外！、福は一内！」と、いっばの敷地に響き渡り、いっばの厄災をみんなで追い払いました。日本文化のひとつを大切に継承して行きたいと思います。

平日、突然の予告なしの避難訓練。地震警報が響き渡り子どもたちもビックリです。素早い動きに、スタッフもさらにビックリでした。

天気予報では2月気温も上昇気味とのことで、3つのつながった部屋と、5つの出入り口を持つ雪の秘密基地をみんなで解体することとなりました。むやみに壊すと大変危険なので、子どもたちどうし相談しながら解体を進めていました。今シーズンの冬が少しずつ春に向かっていく事を子どもたちも体で感じていたようです。



### みそづくり

毎年恒例のみそ造りが2月14日に行われました。毎年開催することで歴代の卒業生が手掛けた味噌が後輩たちに引き継がれ、美味しくいっばで頂いています。前の日から大豆8Kgを大鍋で3回に分けて煮込み子どもたちの手ですりつぶしていきます。その後、麴と塩をまんべんなく混ぜ、すりつぶした豆に混ぜ込みます。この時もしっかりと混ぜ込まないと塩味が偏ったり、塩が足りないところから傷み始めたりと長ーい目でみた仕事をしないと後々、後悔してしまいます。こんなことを子どもたちと話しながら文化をつないで行くみそづくりです。



# 節分

## 【2月行事】

日本の伝統行事に楽しみながら親もう！！紙芝居でなんとなく節分の意味が分かったかな？自分で作ったお面や入れ物を大切に扱いながら、当日の豆まきを楽しんでいました(\*^^\*) 無病息災！！いっばに鬼は来ませんが、見えない邪気を豆で払いました。



日々制作に取り組み、徐々に買い物ごっこへの期待や雰囲気作りを楽しんできました♪



当日は、“物を買う”という生きる上で必要なやりとりや役割、自分が作った商品が店頭に並ぶ嬉しさ感じてくれたかと思います♪



## 【感覚統合あそび】



平均台の上に乗ったまましゃがんだ姿勢をキープ！！さらにそのままボールをフープの中へ投げ入れたり、拾って紙袋に入れたり、新たな運動あそびを取り入れてみんなのやる気もアップ☆ 耳で聞いた色を即座にタッチしたりと、目も耳も、そして手指から足先にいたるまでの協応動作で全ての土台を作っています♪

## 【戸外活動】



主に広場で過ごした2月♪ 雪の中におやつ入りのカプセルを埋めて、宝探しゲームを楽しみました☆ 雪解け水でおままごとするなど、季節や気温の変化も体感できる戸外活動でした！





宿題にお手伝い・・・  
 ピザパーティーに  
 ダイナミックな  
 チャレンジ！  
 雪解けの  
 水路づくりと  
 遊びはつきません！



子供の頃、冬の寒さの中、手足がぬれて冷たさを越えて痛さを感じたことはありませんか？このような経験が、どう対処したらよいか工夫する知恵を授かる原点だと思います。もっともっと元気に色々な経験をしてほしいものです。

